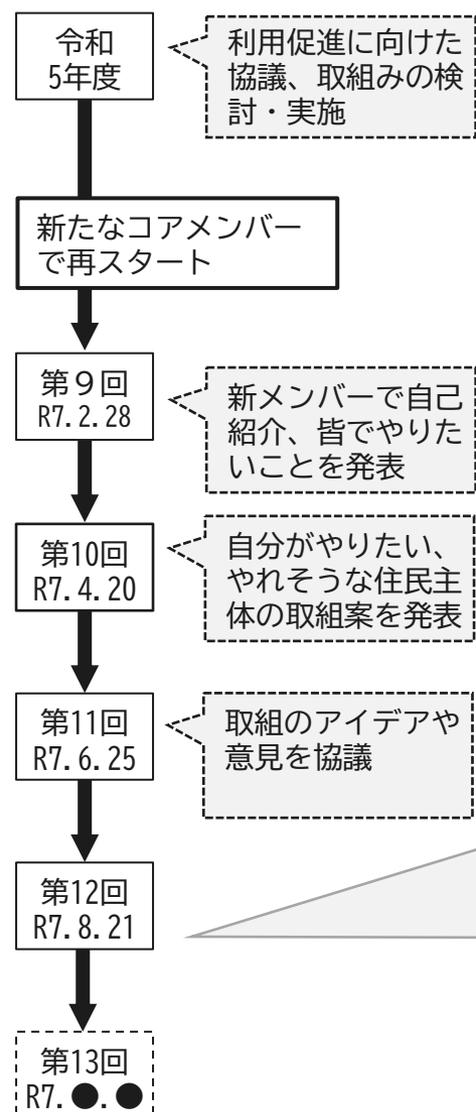


本日のプログラム



本日のプログラム

挨拶

5分

- 事務局挨拶
- 本日の概要説明

共有

20分

- 市と奈良交通による利用促進の取組状況を共有します（前回三者協議以降の進捗状況）
- 前回の意見やアイデアの振り返りと、それに対する生駒市と奈良交通の回答を共有します【資料2】

話し合い

60分

- 協議テーマの中から、関心の高いテーマを選んで、皆（住民・奈良交通・市）で話し合しましょう

終了

5分

- 今後のスケジュールについて、説明します

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績） 平日

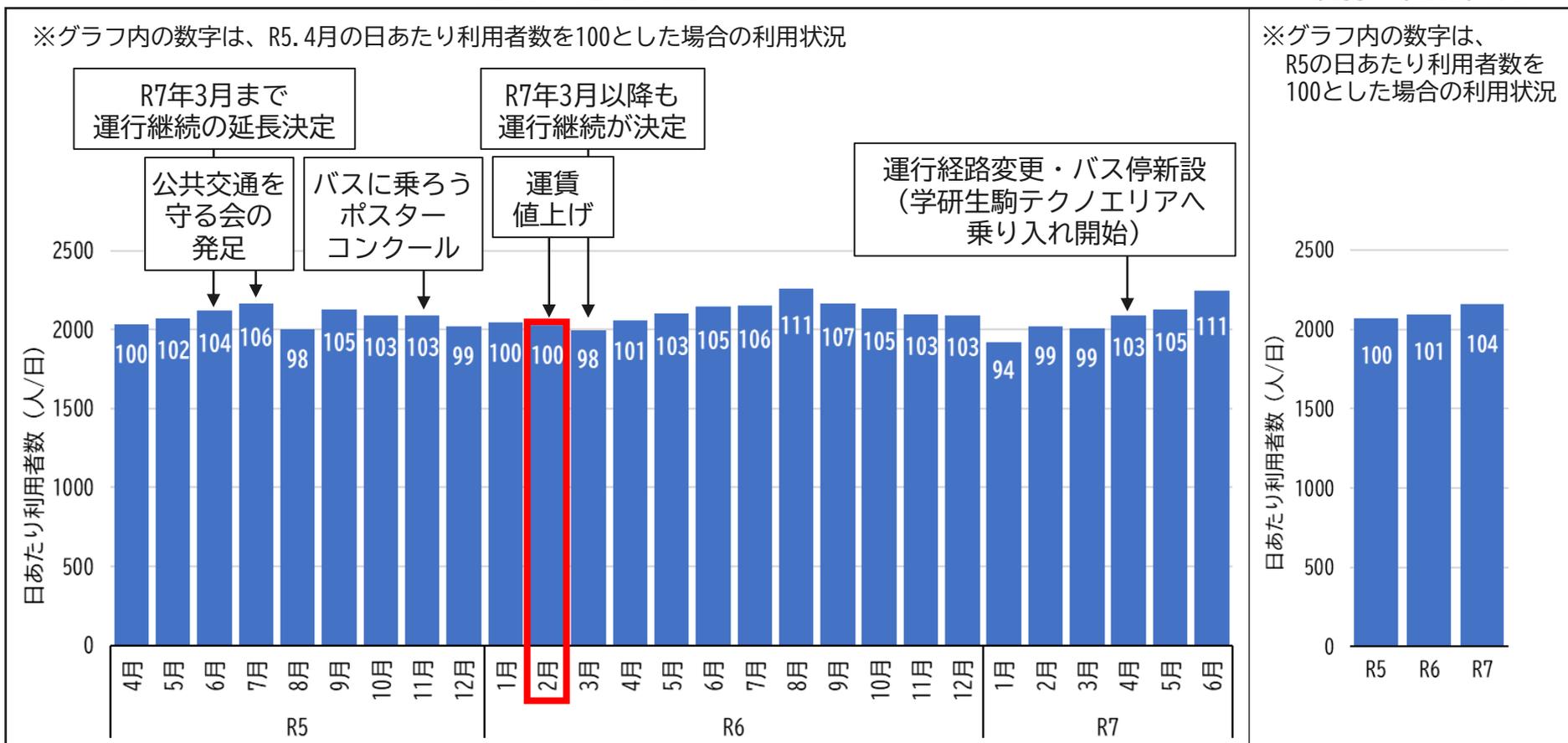
- ・平日について、R5年4月以降は、季節変動等の影響による月単位での増減は見られますが、全体として大きな変化はみられません。年単位では、やや増加傾向にあります。

<月別の利用状況>

<年別の利用状況>

※グラフ内の数字は、R5.4月の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況

※グラフ内の数字は、R5の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況



※ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議は、R5年2月から開始

出典：奈良交通提供データ

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績） 休日

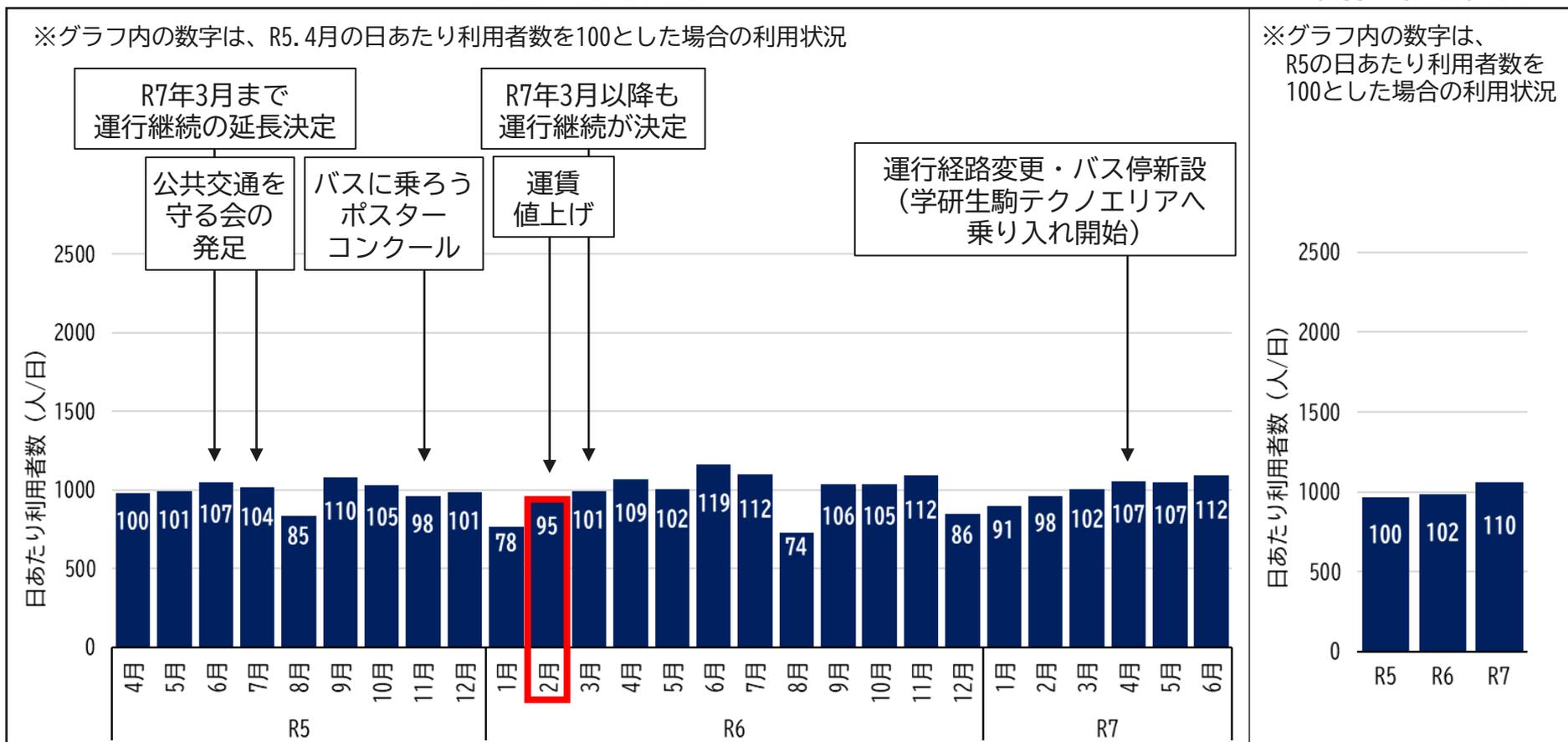
- ・休日について、R5年4月以降は、季節変動等の影響による月単位での増減は見られますが、全体として大きな変化はみられません。※平日と類似の傾向

<月別の利用状況>

<年別の利用状況>

※グラフ内の数字は、R5.4月の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況

※グラフ内の数字は、R5の日あたり利用者数を100とした場合の利用状況



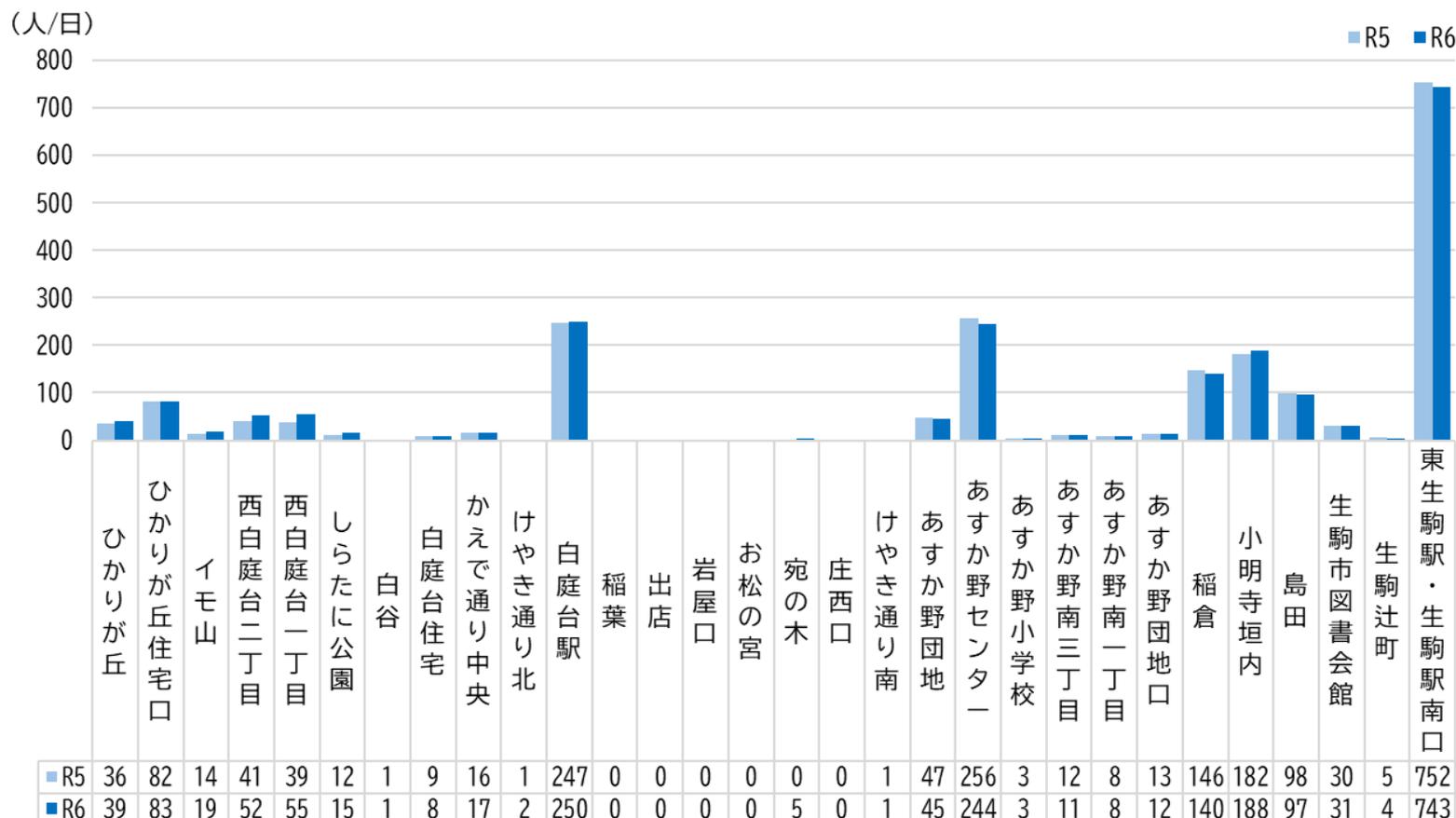
※ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議は、R5年2月から開始

出典：奈良交通提供データ

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況（ICカード実績）【バス停別】

- ・平日について、ひかりが丘や西白庭台の地区内のバス停、小明寺垣内などで、R5からR6にかけて利用が増加。

＜バス停別の日あたり乗車人数（R5年度とR6年度の平日比較）＞



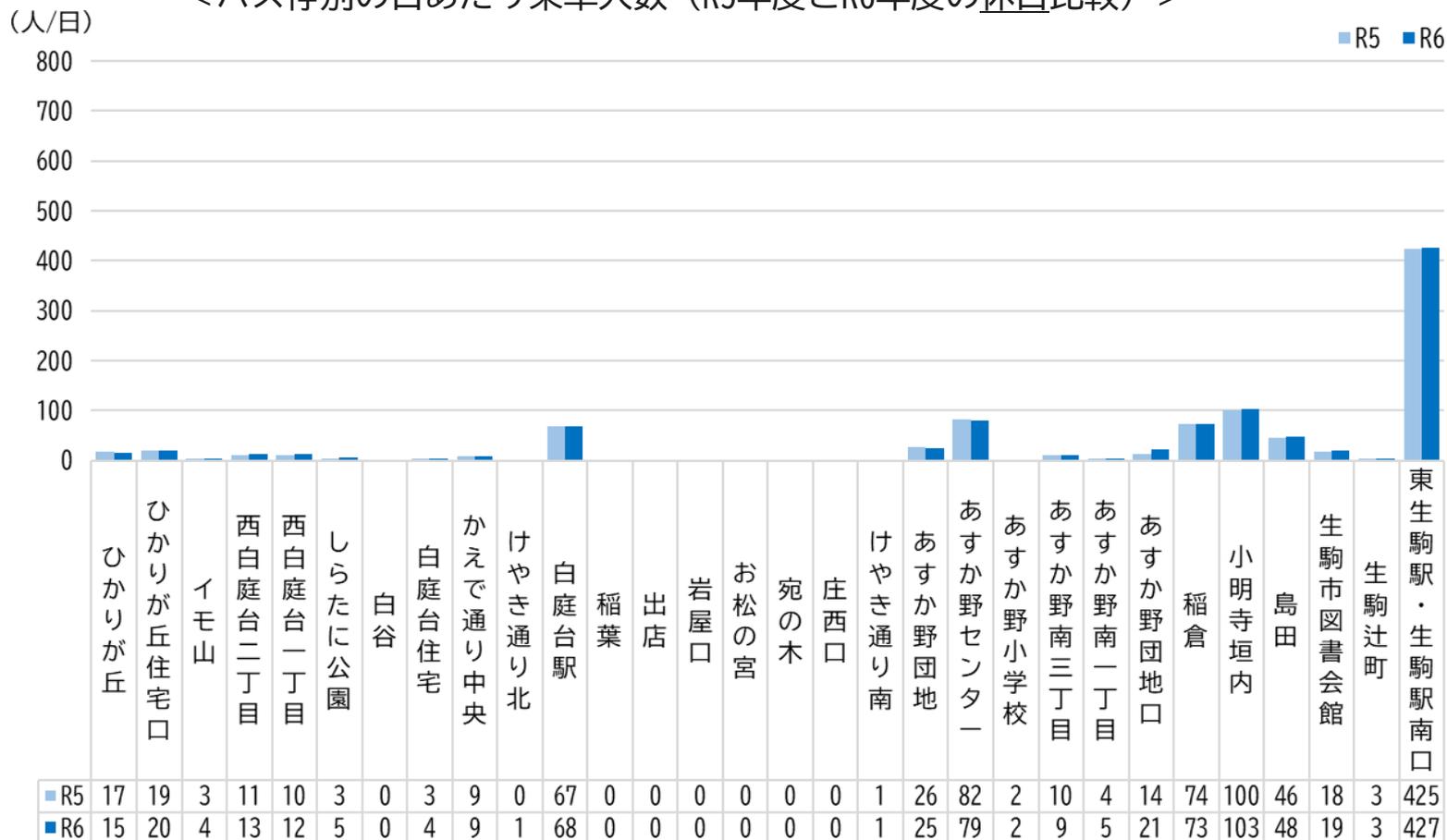
※生駒駅南口と東生駒駅での乗車は後払い方式であり、ICデータ上の乗車バス停が実態と異なる場合があるため、生駒駅南口と東生駒駅の人数は統合して集計

出典：奈良交通提供データ

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況（ICカード実績）【バス停別】

- ・休日について、全体的にR5とR6で大きな変化はなく、あすか野団地口や小明寺垣内などでR5からR6にかけて利用がやや増加。

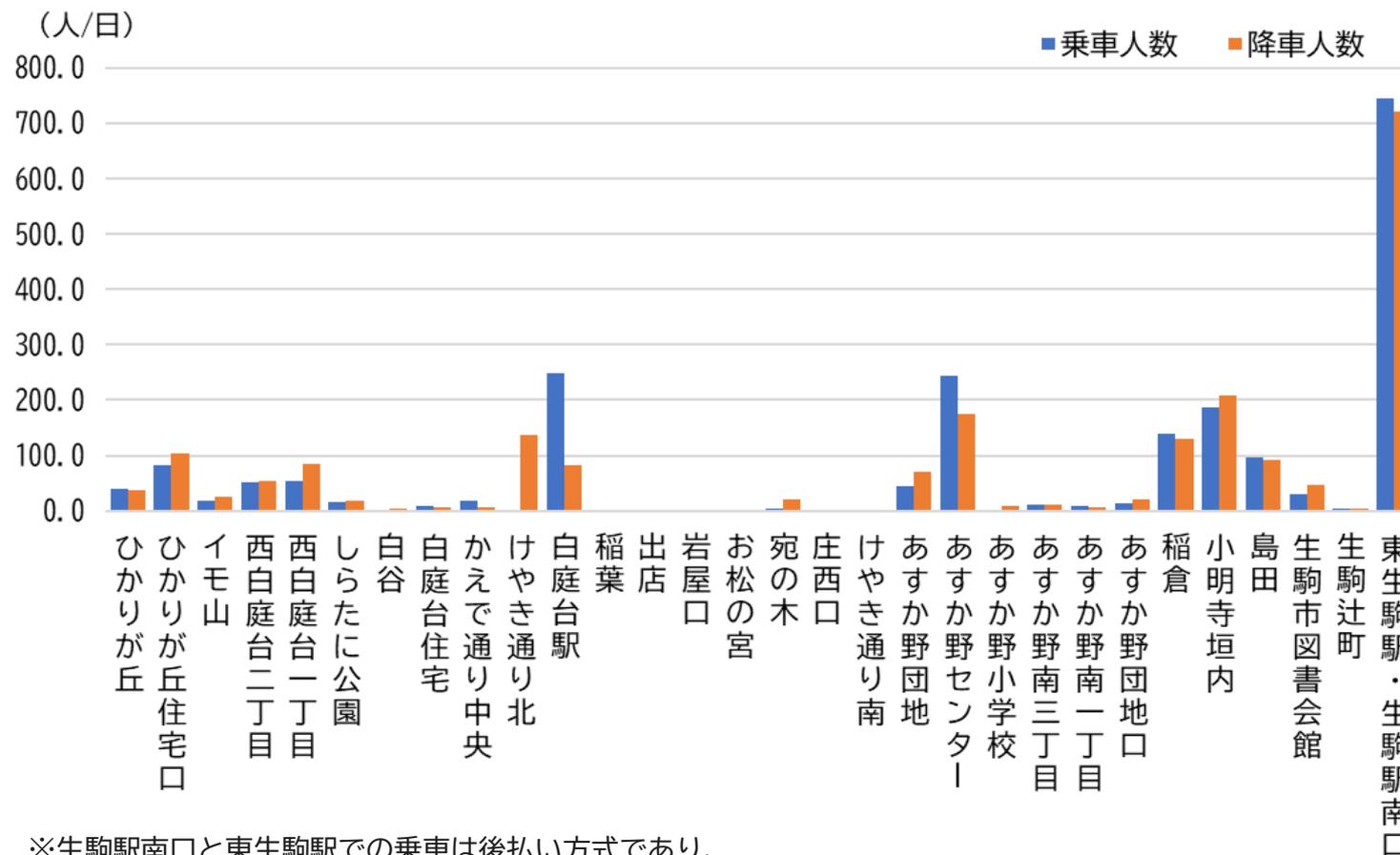
＜バス停別の日あたり乗車人数（R5年度とR6年度の休日比較）＞



※生駒駅南口と東生駒駅での乗車は後払い方式であり、ICデータ上の乗車バス停が実態と異なる場合があるため、生駒駅南口と東生駒駅の人数は統合して集計

参考) バス停別の日あたり利用者数 (R6年度平日)

- ・R6年度平日について、乗車人数は、東生駒駅・生駒駅南口が最も多く、白庭台駅、あすか野センターが次いで多い。降車人数は、東生駒駅・生駒駅南口が最も多く、次いで小明寺垣内、あすか野センターが多い。

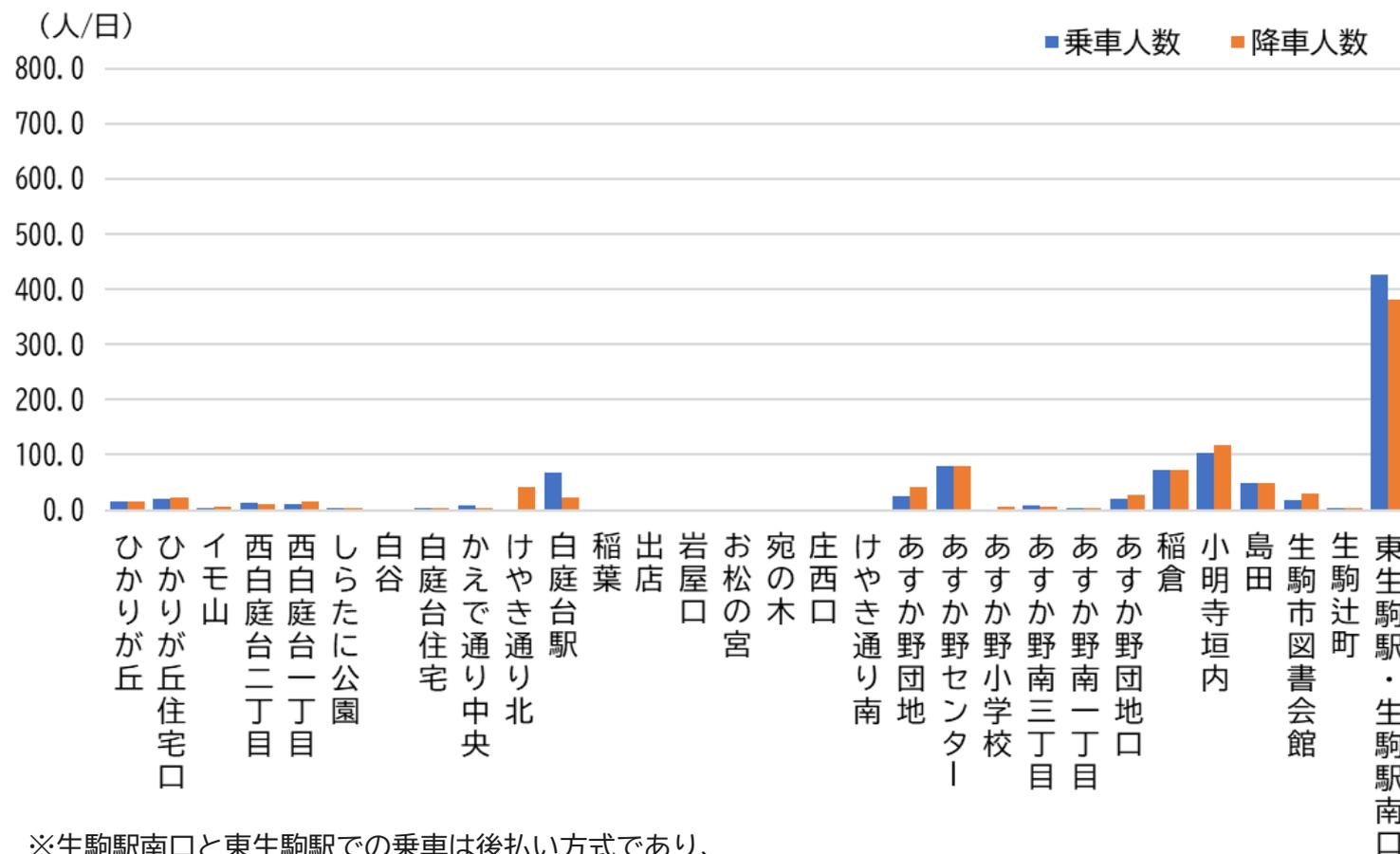


※生駒駅南口と東生駒駅での乗車は後払い方式であり、ICデータ上の乗車バス停が実態と異なる場合があるため、生駒駅南口と東生駒駅の人数は統合して集計

出典：奈良交通提供データ

参考) バス停別の日あたり利用者数 (R6年度休日)

- ・R6年度休日について、乗車人数は、東生駒駅・生駒駅南口が最も多く、小明寺垣内、あすか野センターが次いで多い。降車人数も、東生駒駅・生駒駅南口が最も多く、次いで小明寺垣内、あすか野センターが多い。



※生駒駅南口と東生駒駅での乗車は後払い方式であり、ICデータ上の乗車バス停が実態と異なる場合があるため、生駒駅南口と東生駒駅の人数は統合して集計

出典：奈良交通提供データ